

**平成29年度予算に向けた新規事業採択時評価について**  
**(平成28年8月末現在)**

**【公共事業関係費】**

事業区分		新規事業採択箇所数
ダム事業	直轄事業等	1
合計		1

注1 直轄事業等には、独立行政法人等施行事業(補助事業を除く)を含む

## 新規事業採択時評価結果一覧 (平成28年8月末現在)

### 【公共事業関係費】

#### 【ダム事業(実施計画調査から建設段階に移行) (直轄事業等)

事業名 事業主体	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等による評価	担当課 (担当課長名)	
		貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C(億円)			
		便益の内訳及び主な根拠	費用の内訳	B/C			
鳴瀬川総合開発事業 東北地方整備局	1,220	874	733	1.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後の主な洪水は、昭和22年9月、昭和23年9月、昭和25年8月、昭和61年8月、平成14年7月、平成23年9月、平成27年9月がある。</li> <li>平成27年9月関東・東北豪雨では、浸水戸数665戸、浸水面積3,808haの甚大な浸水被害が発生している。</li> <li>・鳴瀬川水系において、戦後最大洪水である昭和22年9月洪水と同規模の洪水が発生した場合には、浸水世帯約18,800世帯、浸水面積は約17,800haに達する恐れがある。</li> <li>・平成6年には、近年で最も大きな濁水が発生しており、4月における古川観測所の月間降水量11mmは統計開始(昭和51年)以来の最低を記録し、梅雨期間の降水量は平年の70~80%程度であったことから鳴瀬川水系全体の約42%(7,896ha)で用水障害が発生した。</li> <li>・概ね100年に1回程度発生すると考えられる降雨による洪水を想定した場合、事業実施前後で、鳴瀬川流域で想定死者数(避難率40%)が49人減、電力の停止による影響人口が6,710人減などと想定している。</li> </ul>	水管理・国土保全局治水課 (課長 泊宏)	